



記念品を受け取る井上智也主将

### 3/27 全国大会出場を目指して 愛南町で合宿

京都産業大学軟式野球部が、3月26日から30日までの間、南レク城辺公園野球場で春期合宿を行いました。同部が愛南町で合宿をするのは初めてのことです。

3月27日には、清水雅文町長が来町のお礼と激励のためにグラウンドを訪れ、記念品として愛南町産のデコポンを贈呈しました。

井上智也主将は「今回の合宿では守備の強化とチーム力の向上を図りたい。愛南町は暖かく、練習に専念できる環境が整っている。8月に開催される全国大会への出場を目指して頑張りたい」と抱負を述べました。

### 3/27 農業や食への理解深めて

町内の小学校で活用してもらおうとJAえひめ南信用部から町教育委員会に補助教材本「農業とわたしたちの暮らし」とDVDが贈られました。

これは、子どもたちに食と環境や農業への理解を深めてもらおうとJAバンクが実施している事業の一環で、平成20年度から続けられています。

中村維伯教育長は「愛南町は、第一次産業が基幹産業。いただいた教材を有効に活用したい」と謝辞を述べました。

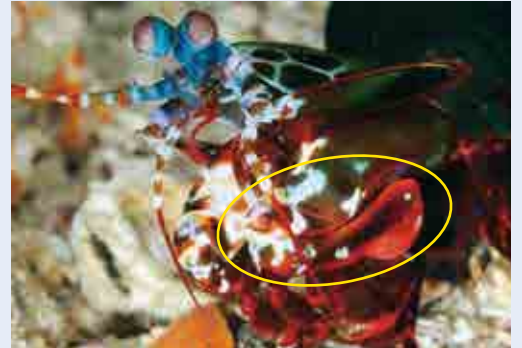


JAえひめ南 榎々下義久常務理事（写真左）から補助教材本が贈呈されました

あんなことや、  
こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.78

「海のボクサー」



モンハナジャコ（紋華シャコ）

5月19日は、白井義男が日本初のボクシングチャンピオンになったことを記念して、ボクシングの日に制定されたそうである。

海のボクサーと言えば、モンハナジャコである。強烈なパンチを繰り出して、カニやエビの甲羅を砕いて食べてしまう。時にはアサリの硬い貝殻さえも砕いてしまう。強烈なパンチは、胸の下に折りたたまれたハンマーのような前足（写真の○印）を勢いよく伸ばすことにより繰り出される。

寿司ネタとしても知られるシャコの仲間、体長は15cmほど。派手な色彩は、海の中でもよく目立つ。サンゴや貝殻を集めて、両側に入り口のある巣穴を作って住んでいる。動きは素早く、獲物を探して海底を滑るように泳ぎ回っている。

5cmほどのかわいい子供を見つけたので手を出したとたんに「パチン」。水中に響く音と共に指先に衝撃が走った。小さくてもボクサーはボクサー、うかつに手を出さないほうがよさそうである

(撮影地：鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照

### 4/3 カラオケで福祉活動に寄附

南宇和カラオケ愛好会（会長 所谷徳行<sup>のりゆき</sup>さん）主催の「第50回福祉チャリティー歌舞踊発表会」が3月2日（木）に御荘文化センターで開催されました。今回はこれまで以上に多くの人が来場し、集まった募金が町社会福祉協議会に寄附されました。所谷会長は「カラオケで地域に貢献したいとの思いで続けている」と話しました。社会福祉協議会では、この寄附金を地域福祉活動に活用する予定としています。



寄附金を贈呈する南宇和カラオケ愛好会の所谷会長（写真左）

### 4/3 地域おこし協力隊員が活動を開始

愛南町では初めてとなる地域おこし協力隊員に森裕之<sup>ひろゆき</sup>さんが決定し、清水雅文<sup>まさふみ</sup>町長から委嘱状が交付されました。

地域おこし協力隊は、都市地域から人材を受け入れ、地域おこしの支援や地域の協力活動を行ってもらいながら、地域への定住・定着を図ることで地域の活性化につなげようという取り組みです。

森さんは、横浜市出身。今後、緑地域に活動の拠点をおいて、地域の特性を活かした産業振興など、支援活動を行っていきます。



初代「愛南町地域おこし協力隊員」として活動を開始した森裕之<sup>ひろゆき</sup>さん

### 4/10 町内の小中学校で入学式

町内14の小学校で入学式が行われ、新入生125名が新たに小学校に入学しました。

城辺小学校では34名の新入生が入学式を迎えました。上級生や来賓、保護者が見守るなか、緊張した表情で体育館に入場した子どもたちでしたが、担任の先生に名前を呼ばれると、元気よく「はいっ」と返事をする事ができました。

10日から11日にかけて町内の5つの中学校でも入学式が行われ、158名が中学校生活をスタートさせました。



新入生を代表して木原<sup>きんら</sup>子校長から教科書を受け取る稲垣<sup>いながき</sup>あゆみさん